

**長久手市公共施設等に関する市民か
らの提言について**
(平成29年度公共施設のあり方検討市民ワーキン
グ開催結果)

平成29年12月
総務部財政課

はじめに

現在、国内では、高度経済成長期にその後の人口増加を前提として建設された数多くのインフラ資産や公共施設が老朽化し、各地で一斉にその更新時期を迎えています。その一方で、人口の高齢化による扶助費の増加などにより、今後は全国的に厳しい財政状況が続くと見込まれており、公共施設等の維持補修・更新のための財源を十分に確保することが困難となることが予想されています。また、少子化・人口減少社会においては、住民の公共施設に対するニーズも従来から変化してきていると考えられ、今後の公共施設等のあり方についても、改めて問われているところであります。

そのような状況の下、国は、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を定め、全国の地方自治体に対しては総務省から、その行動計画に当たる「公共施設等総合管理計画」の策定を求められました。

これを受け、本市においても平成29年3月に「長久手市公共施設等総合管理計画」を策定し、今後は、この計画に基づきながら各個別施設の維持・更新についても計画立った適正な管理を行うこととなります。

また、平成29年度においては、総務省から「統一的な基準による地方公会計の整備」が全国の自治体に要請され、本市において毎年作成している、財務書類(財務4表)についても、平成28年度決算分からは、この新たな基準に基づいて整備した固定資産台帳を基に作成することになっています。

そこで、この平成28年度決算財務書類及び固定資産台帳の整備業務により得られる公会計データを活用することで、より詳細なストック情報を具体化するなどして、「長久手市公共施設等総合管理計画」についても平成29年度中、更新版の策定を予定しているところです。

ただ、この更新版策定にあたっては、行政の力だけで進めるのではなく、計画づくりに関しても、広く市民に関与してもらうことで、市の現状についての市民への情報共有に寄与することのほか、市民の視点も計画の中に盛り込んでいくことが可能となるため、これらをねらいとして、同年度中に「公共施設のあり方検討市民ワーキング」と題し、5回にわたり、市民に公共施設について考えてもらうためのワークショップを開催しました。

このワーキングで得た市民の意見については、「長久手市公共施設等総合管理計画」の更新版策定における参考とさせていただくのみならず、各個別施設の計画づくりにおいても、今後十分考慮しながら、真に市民の満足度向上に資するような行政運営を推進していきます。

【 目 次 】

- 1 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要
- 2 公共施設に関する提言(ワーキングのまとめ)
- 3 各回開催結果(ニュースレター)

1 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要

1 公共施設のあり方検討市民ワーキングの概要

(ワーキングの目的)

市民が使う公共施設の今後のことを、行政だけでなく、市民と一緒に考え、その結果を参考にし、「公共施設等総合管理計画」を更新する。

(開催時期及び開催回数)

平成29年8月から同年11月まで 計5回

(ファシリテーター)

名古屋大学大学院工学研究科 恒川和久准教授(詳細は、別紙1のとおり)

(運営協力)

名古屋大学恒川研究室学生 8人

(参加者延べ人数)

88人

(開催内容等)

別紙2のとおり

ファシリテーター プロフィール

名古屋大学大学院工学研究科 准教授

つねかわ かずひさ
恒川 和久 氏

(略 歴)

- ・名古屋大学工学部建築学科卒業
- ・大林組東京本社設計本部勤務
- ・名古屋大学工学部建築学科助手、同講師を経て現職
- ・公共施設マネジメント分野の第一人者であり、関連著書多数。県内市町村(名古屋市、豊川市、西尾市、蒲郡市、田原市、知立市など)においても総合管理計画や適正配置計画のアドバイザー、講演等多数実績あり。

(資 格)

- ・一級建築士

公共施設のあり方検討市民ワーキング 日程

【第1回】 8月26日(土) 午後1時～午後4時

参加:17人

テーマ: **現状に関する情報共有**

- ・講義「公共施設を取り巻く現状について」/名古屋大学大学院工学研究科 恒川和久准教授
- ・講義「本市の公共施設等について」/長久手市総務部財政課
- ・グループワーク「公共施設を考える上での長久手市の特徴について」

【第2回】 9月24日(日) 午前9時～正午

参加:11人

テーマ: **現場の確認**

- ・老人憩の家、まちづくりセンター、集会所、共生ステーション、文化の家などの公共施設を巡り、現状や使われ方を確認
- ・現場確認を踏まえた意見交換

【第3回】 10月14日(土) 午後1時30分～午後4時30分

参加:18人

テーマ: **課題の抽出**

- ・振り返り
- ・グループワーク「性質別の施設分類」 … 公共・民間、あらゆる施設を広域性や利益性などの観点から4象限に分類
- ・グループワーク「優先検討事項の抽出」 … 公益性の高い施設について、本来求められる機能と現状の課題を抽出

【第4回】 11月11日(土) 午後1時30分～午後4時30分

参加:19人

テーマ: **課題に対する提案の検討**

- ・振り返り
- ・グループワーク「課題に対する提案の検討」 … 第3回で出された課題等を4テーマに分類し、公共施設等総合管理計画の基本方針を市民により検討

【第5回】 11月26日(日) 午後1時30分～午後4時30分

参加:23人

テーマ: **総まとめ(結論)の作成**

- ・振り返り
- ・グループワーク「公共施設に関する提言の作成」 … 第4回の検討結果を基に再編した4つのテーマごとに、ワーキングの成果として提言を作成

2 公共施設に関する提言(ワーキングのまとめ)

2 公共施設に関する提言(ワーキングのまとめ)

全5回のワーキングを踏まえて、最終回では市民の手によって市公共施設等総合管理計画に対する市民の提言として、このワーキングの結論を考えてもらい、最終的に名古屋大学恒川研究室監修のもと、具体的に以下のとおりまとめました。

1 「市の顔」となるような魅力ある拠点の整備

今後更新が見込まれる市役所を始めとした大きな施設の整備にあたっては、単に必要な機能を考えるだけでなく、市民のいこいの場、交流の場となるような空間づくりに配慮し、市民も職員も誇れるような「市の顔」とも言える魅力ある拠点として整備する。そして、それを交通や商業の中心と繋げることで、長久手市の中心を作る。また、文化の家や福祉の家など、既存の大きな施設について、今後もその魅力が市の枠を超えて最大限に発揮されるよう活用する。

(ファシリテーターのコメント)

整備にあたっては、コストメリットが出る場合や、相乗効果によって施設の魅力向上が期待できる場合に、それらの施設の「複合化」を検討するとよい。

また、本市同様、近隣他市町にも魅力的な施設がたくさんある。これらの施設も長久手市民が気軽に利用できるようになるため、「自治体間連携」のメリットを打ち出していくことも重要な課題となりうる。

そして、市の拠点整備の中でも、行政機能の核となるのが、「市役所」だろう。市役所の整備から始まる長久手市の拠点づくりを期待したい。

2 誰もがふらっと立ち寄り、フラットに使える施設の整備

利用者の性別や年齢、施設の用途などの制限を取り払い、フラットにすることで、それぞれの地域に今ある小学校区単位での共生ステーションや字名単位での集会所、児童館、老人憩の家といった拠点の機能や立地を整理し、市民の誰もが自由気軽にふらっと集まることができる小規模多機能な地域拠点を整備する。

(ファシリテーターのコメント)

上記の地域単位での拠点整備を考える上で、このワーキングでも毎回話が上がった集会所などの「管理主体の問題」がある。いつもは鍵がかかっている、使い勝手が悪いとの声が多く、誰がどのように管理するのかということについては、地域ごとの実情も考慮しながら、市民とともに個別に検討していく必要があるだろう。

3 使い勝手の向上を目指した施設情報の見える化や柔軟な運営

市が保有する施設の情報を集約して公開することで、市民が気軽にわかりやすく施設を利用することができるようにする。また、一定の用途しか連想されないような施設名称を、様々な使い方が期待できる名称に変更する。そして、現状の使われ方の状況や情報を踏まえて、施設の運営を柔軟に行う。

(ファシリテーターのコメント)

施設の管理は様々な部署で行われており、情報も点在している。これらをまとめて市民にわかりやすく発信することは、施設の使い勝手の向上につながるといえる。ほかにも、これまでの議論の中で、施設の駐車場不足が課題となっており、一定の台数の確保が不可欠といった意見があり、このこともよく考える必要があるだろう。

4 全施設を計画的、総合的に管理する市長直属の強力な推進体制の整備

部署の壁を越えて施設を管理するための推進体制を整備し、全施設の整備方針について、更新、維持管理・長寿命化、他施設での代替えなど、積極的な情報公開をし、市民参加の機会も持ちながら、公共施設の総合的な管理運営を計画する。必要なものは建て替えるが、他の施設は良い状態で長く使ったり、代替可能な場合は民間や大学、他自治体の施設をうまく利用したりすることで、自治体の負担するコストを最小限に抑える(選択と集中)。

(ファシリテーターのコメント)

他の自治体では、全市的に既存の資産を、ただ管理するにとどまらず、これらを活かして積極的な経営戦略を打ち立てることによって、市の具体的な政策実現にうまくつなげている所もある。そのためには、強力なリーダーシップや推進体制が必要不可欠だ。また、長久手市には、市所有以外にも商業施設、県有公園、大学施設などの資源が豊富であり、これらを積極的に活用していかない手はないだろう。

3 各回開催結果(ニュースレター)

3 各回開催結果(ニュースレター)

このワーキングの各回の様子や流れとともに、詳細結果をニュースレターにまとめて参加者はじめ市民の皆様にお伝えしてきましたので、参考に掲載します。

(添付資料)

・ニュースレター(第1回～第5回)

第1回公共施設のあり方検討市民ワーキングを開催



News Letter No.1
 長久手市総務部財政課
 2017年8月26日(土)
 13:00～16:00
 @西庁舎 3階研修室
 【参加：17人】

長久手市の公共施設の現状について、市民の皆さんに知ってもらい、今後の有効活用などについて一緒に考えてくため、「第1回公共施設のあり方検討市民ワーキング」を開催しました。

これから各回ファシリテーターを務めていただく、公共施設マネジメントの第一人者として多くの実績がある名古屋大学大学院工学研究科准教授の恒川和久先生と財政課職員から、公共施設に関するレクチャーを行った後、皆さんで「長久手市はどんな場所？」をテーマに話し合いました。長久手市の良いところ、悪いところなどたくさんの意見が出て、これらを基に、今後はより具体的な検討に入っていきます。

■公共施設に関するレクチャー(恒川先生、市財政課)

恒川先生から、施設の老朽化、人口減・少子高齢化、厳しい財政状況など公共施設を取り巻く全国的な問題点や、これらに対する国の動向、公共施設マネジメントにおいてこのワークショップへの期待などのレクチャーを実施。本市は、比較的近年に見られる人口増加に伴い、全国的なピークから少し遅れて公共施設の建設を進めてきたために、比較的施設の老朽化が進んでおらず、**人も施設も若いまちであり、差し迫った状況ではない今のうちから市の施設に関する方向性をじっくり検討できるのは有益である**との分析結果も示していただきました。その後、市の担当者から本市の人口や人口構造の変化、市の策定した公共施設等総合管理計画の中身などについて説明を行いました。その中で、本市の施設は比較的若いとはいえ、今後数年間では学校施設、子育て関連施設などの施設需要や、老朽化した市役所庁舎の建設等、**喫緊の課題もあること**など、留意点にも言及がありました。

- (恒川先生のコメント)
 - 市の1人あたりの用途別施設面積を見てみると、公営住宅がなく、かわりに**医療保健施設(福祉の家など)、文化施設(文化の家)、図書館などの面積が大きい**ようだ。
 - 小学校区別に見ると面積としてはバランスがよいが、主要道やリニモ沿線には比較的少ない。しかし、**大学、博物館、モリコロパーク、商業施設など市有以外の施設が充実しているのも特徴だ。**
 - アンケート結果によれば、公共施設の利用率は全体的に低い。
- (財政課のコメント)
 - 人口減少社会に反し、長久手市は人口が伸びていて今後も一定の施設需要がある中、更に、老朽施設の更新についても考えていかなければならない。
 - 施設の更新にあたっては、例えば**文化の家などの施設の更新費用を短期間で調達することは困難**であり、市全体の公共施設や財政状況を踏まえて年度間の負担の平準化などよく検討しなければならない。
 - 各小学校区で地域共生ステーションの整備も進んでいる。

グループワークの様子



恒川先生の進行により、5つのルール

- ①人の意見は最後までよく聞く
- ②思いついたことは言ってみる
- ③否定しない
- ④全員が意見を出す
- ⑤その場を楽しむ

を守り、各テーブルでテーマ「**長久手市はどんな場所？**」について、**良いところ、悪いところ**などを考えてもらいました。ワーキングには、名古屋大学の学生さんたちにも協力していただきました！！

<プログラム>

- 13:00 あいさつ
- 13:10 レクチャー①
「公共施設を取り巻く現状について」
／名古屋大学大学院 恒川准教授
- 13:40 レクチャー②
「長久手市の公共施設等について」
／長久手市財政課長補佐兼財政係長
- 14:00 質疑・応答
- ☆グループワーク☆
- 14:25 自己紹介
- 14:40 グループごとに話し合い
テーマ:「長久手市はどんな場所？」
- 15:40 成果発表・講評
- 15:55 次回案内



住みやすい、緑が多い、若いまち…

交通渋滞、駐車場問題、地域のつながりが薄い…



■ グループワーク結果～長久手市ってこんな場所～



(Aグループ)

「旧住民は、繋がり、伝統も多く残るまちとも言えるが、新住民が多く、繋がりが総じて希薄。」
 「若者が多く活気があり、学童、放課後児童クラブ、児童館など子育て施設の充実を図っている。」
 「通学路など歩道が狭く、商業施設ができてから交通渋滞も発生しており、道路の整備も課題。」
 「文化の家、福祉の家、図書館など、立派な公共施設がある。」

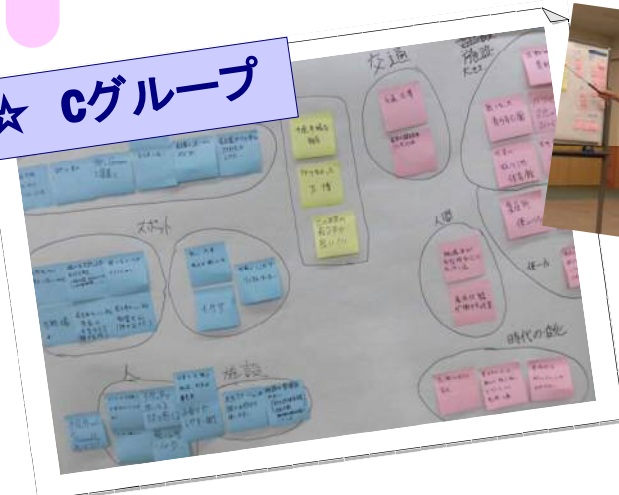
(Bグループ)

「公園もたくさんあって、緑が多いまち。」
 「商業施設もたくさんあり、20分以内の移動で生活ができる、住みやすいまち。」
 「地域でのまとまりが薄く、集まろうにも参加者が少ない。」
 「車社会で、歩いて移動するには限界がある。」
 「近年急速に商業施設など乱開発が進んでいてなんだか心配だ。」

(Cグループ)

「名古屋市に近くて便利。」
 「モリコロパーク、文化の家、博物館、古戦場、ござらっせなど遊べる場所がたくさんある。」
 「子供の声が聞こえ、未来を感じるまち」
 「市役所の人がフレンドリー。」
 「大きすぎる文化の家が負担にならないか心配！」
 「集会所が使いづらい！」

★ Cグループ



<主なQ&A>

- Q 施設の更新を検討するにあたり、減価償却費などは考えられているのですか。
 A 現状の全国一般的な自治体会計では今まで考えられていませんでしたが、新しい公会計基準でこれから考慮していくこととなります。
- Q 市有でなく地域所有の集会所などは、このワーキングの検討対象ですか。
 A 市の総合管理計画の対象外ではありますが、今後の施設のあり方を広く考えていく上では一緒に検討していただきたいです。
- Q 老朽化した施設などについて、耐震化したらどのくらいもつのでしょうか。また、市の公共施設は耐震基準をクリアしていますか。
 A 本市の公共施設は、公園のトイレなどの一部を除いてほぼ全て耐震化が完了しています。ただし、耐震化したからといって、延命したことにはならないのです。
- Q 長久手は施設も人も若く、これから人口が変わっていく中で、どのような点に着目して考察すべきでしょうか。
A そういったことこそ、ワーキングでは是非皆さんと一緒に考えていきたいのです！！

- グループワークを通じて、長久手の特徴が見えてきました！！
- 今後は、更に深く市の公共施設について考えていきます。
- 次回は、実際に市のさまざまな公共施設をバスで回って見てもらいます。意外と知らない、行ったことのない公共施設もあるかもしれません。実際に現場に足を運んでいただいた上で、その後公共施設の課題を洗い出し、どうすべきかまで皆さんと一緒にこれから考えていただきます。各回の参加もOKですが、**第2回については先着定員35人**となっていますので、是非お知り合いなどお誘いの上、財政課までお申し込みをよろしくお願い致します！！

次回案内

★ 第2回 公共施設を見に行こう ★

9月24日(日)午前9時 市役所正面玄関前集合(正午終了予定)

※事前申込み制。定員35人。お申し込みは、総務部財政課まで



第2回 公共施設のあり方検討市民ワーキング

～公共施設を見に行こう～
が開催されました

News Letter No. 2
長久手市総務部財政課

2017年9月24日(日)
9:00～12:00
【参加: 11人】



(本日の視察先)

老人憩の家さつき荘

農村環境改善センター

(車窓から)
市民野球場／市民テニスコート／
給食センター／長久手中学校

まちづくりセンター

長配三丁目集会所

枳ヶ池体育館

西小校区共生ステーション

文化の家

まずは現場を知るべし！

公共施設のことを考える上で、現状を知るとはとても大切なこと。第1回は市から公共施設の現状などについてレクチャーを受け、今回は市のバスに乗って、市内の様々な公共施設を実際に見て、参加したみなさんと意見交換を行いました。



憩の家は、どんな人が使っていて、誰が管理しているの？

地域の高齢者が集う場として、シニアクラブが管理しているんだよ。

改善センターにははじめて来たけど、意外とたくさんの貸し部屋があるんだな。多目的室などは、結構利用されているみたいだ。

枳ヶ池体育館ももう築30年が経過していて、少しずつ老朽化も目立ってきているんですよ。



地域共生ステーションは、地域の人たちが気軽に何気なく来られる居場所として、各校区にある施設を有効利用するなどして整備していくんだ。



文化の家は「ハシ」と「ケ」(非日常と日常)をテーマとして作られた、長久手市最大級の公共施設で、市内外の多くのみなさんが利用しています。

久しぶりに来たけど、改めて見ると立派な施設だ！確かに、施設の利用率はとても高いようだ。

今日、気づいたことをみんなで共有しました！



- ★長年住んでいるが初めて訪れる施設もあった。昔から知っている施設もずいぶん古くなったという印象も。
- ★小規模施設は利用率が低く、規模が大きい施設は一定の利用率があるようだ。
- ★施設の整備に当たっては財源の問題も考えなくてはならないだろうから、公共でなく民間にできるものは民間に任せたり、ある程度集約化を図っていくことも重要だ。
- ★集会所は地域の担当者が鍵の管理をしているようなのでいつでも入れる訳ではなく、使い勝手に課題がある。
- ★今日回った中でもたくさんの集会所があった。集会所はいつもは空いていないし大人数で集まるには狭く、駐車場もあまりない。老人憩の家はシニアの方しか利用できない。共生ステーションやまちづくりセンターのような施設のほうが、利便性が高そう。
- ★施設は点在しているよりも、集中していたほうが管理の面でも効率的。
- ★できるだけ新しい施設を作るのではなくリノベーションを。その際は、環境負荷に配慮し、CO2削減を。
- ★アクセスの点を考えれば、公共施設は一定の駐車場を確保するか、または、リノモなどの駅周辺に設置されるのが望ましい。
- ★これからは、民間にはできない真に公共が担うべき機能を考える必要がある。
- ★人口減少を見据え、施設を余計に作りすぎず、今あるものを有効活用すべき。
- ★全ての公共施設の空き状況を一括して検索、予約などができるような仕組みがあれば、利用率も上がるかも。

ワーキングファシリテーター
名古屋大学大学院
工学研究科 恒川 和久
准教授

なるほど、と思うような鋭い意見もたくさん出ましたね。前回、今回を踏まえて、次回から「具体的な重要課題」を抽出していきましょう！

次回以降のワーキングのご案内

第3回 平成29年10月14日(土) 13:30～16:30 市役所西庁舎3階 研修室

第4回 平成29年11月11日(土) 13:30～16:30 まちづくりセンター2階 集会室1

第5回 平成29年11月26日(日) 13:30～16:30 まちづくりセンター2階 集会室1

※事前申込み不要。各回のみ参加も可能ですので、奮って御参加ください!!!

第3回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年10月14日(土) 13:30~16:30 【参加：18人】

★ 公共施設の種類ごとにみんなで課題を抽出しました



公共施設の老朽化が全国的に問題となっています。長久手市では、今後各個別の施設の維持・更新などを考えていく上で、その基本的な考え方を示した「**公共施設等総合管理計画**」を、**市民の意見も踏まえて更新**していく取組みを進めているところです。

第1回は公共施設を取り巻く現状など市からの説明を受け、第2回は実際に市内の様々な公共施設の現場を巡りました。

《プログラム》

- あいさつ 13:30
- これまでの振り返り 13:35
- グループワーク① 14:00
- 『性質別施設の分類』
- グループワーク② 15:10
- 『優先検討事項の抽出』
- 結果発表 16:15

今回は、市職員からのこれまでのワーキングの振り返りのあと、**様々な公共施設等を「性質別」に分類**し、それぞれの施設に関して「**本来求められるもの**」、「**現状の課題**」は何なのか等を話し合ったので、その結果をお伝えします。

ファシリテーター：
名古屋大学大学院
恒川和久准教授



★ グループワーク①・②

グループワーク①（公共施設分類）
みんなで思いつく民間・公共あらゆる施設の名前をふせんに書き、左の図のマップに貼っていく。
左側に近い…利益性・選択制があり、誰でもというよりは一部の人が利用するような施設
右側に近い…公益性・必然性があり、公共として持つべき施設
上側に近い…校区・自治会単位など狭い地域での利用が想定される施設
下側に近い…市全域・近隣市など広い地域での利用が想定される施設

そういえば、長久手にはこんな施設もあったな！

この施設はどこに位置づけられるかな？
本当に公共が持つ必要ってあるのかな？

グループワーク②（優先検討事項の抽出）
グループワーク①で作成したマップの右上の領域から1つ、右下の領域から1つ、議論したい施設を選んで、その施設に「本来求められるもの」と「現状の課題」を洗い出す。

施設類型・施設名（**例**）

《 本来求められるもの 》

気軽に使える

《 現状の課題 》

利用率低い

こうあるべきんですけど、この施設、実際はこんな問題が…！！

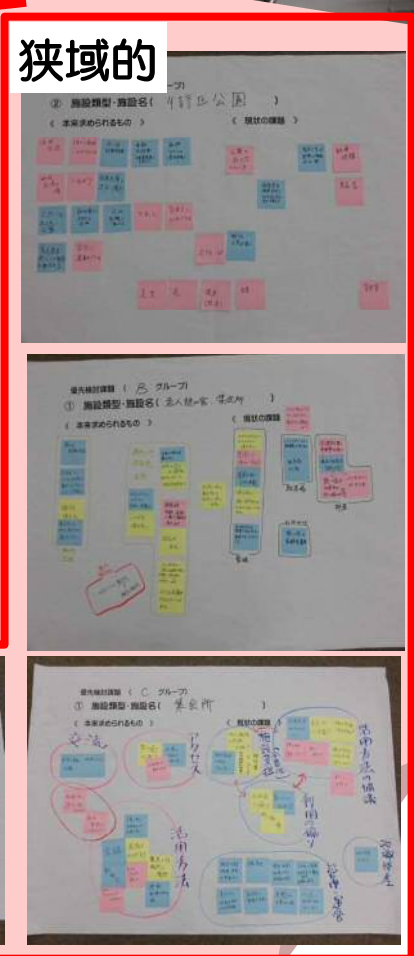
これらの課題は、一緒に検討できるかもしれないね！

市役所、体育館、集会所、老人憩の家、文化の家、…
4グループきれいに分れましたね…。

★グループワーク結果



各グループで
様々なマップがで
きあがりました！
同じ施設でも位
置づけが異なるも
のもあって興味深
いですね！！



いろいろな施設ご
とにみんなで課題
を考えると、
そこにはいくつか
の共通する要素が
見いだせそうです
ね！

グループ	広域的な施設		狭域的な施設	
	本来求められるもの	現状の課題	本来求められるもの	現状の課題
A	市役所		街区公園	
	戸籍、税、健康保険などの窓口業務	今後の少子高齢人口減少減収社会を考慮した自治体の再構築	いつでも気軽に使える	騒音
	建物が高齢であること	市役所業務が拡大している	体を動かす(金スポーツ)(金高齢者)	雑草
	住民の安心安全	縦断行政で、横の連携が弱い	美観(水場、芝生、花、緑)	駐車場が足りない
	職員を運行する人材	各種サービスのワンストップ化(利便性向上)	高齢者にとっては、家からすぐ近くにあるとよい	高齢者にとっては、家からすぐ近くにあるとよい
B	図書館		老人憩の家・集会所	
	本の貸し借り	市の図書館をほとんど利用していない	歩いて行ける	騒がかかっていて、使い勝手が悪い
	文化的にリードする存在	飲食スペースの充実	若者男女でも使える	管理や許可の主体が分かっていない
	歴史的文献の保存	駐車場が足りない	高齢にいつでも使える	バリアフリーが不十分
	勉強する場所	移動図書館があってもいい	多様性	駐車場が足りない
C	秋ヶ池体育館		集会所	
	市民の健康増進・体力向上	今後数十年維持可能性	交流の場	維持管理の負担(家内など)
	交流の場	公営全体を利用したイベントの充実(マルシェなど)	比較的家の近くにある	一部の人が利用していない(若い人の利用が少なく)
	スポーツの盛衰	駐車場が足りない	会議する場所	使い方が分からない
	気軽に使える	休館時間やプールがない	勉強する場所	何のために使う施設か分からない
D	文化の家		野球場・スポーツの杜	
	市民が文化活動を行う場(練習、発表)	利用料金が安いから	スポーツをする場	予約がいっぱいでなかなか利用できない
	市民が文化芸術を楽しむ場(鑑賞)	維持コストが重くなる	スポーツをする場	空いているとき予約なしでも利用できない
	市の文化行政発信の場	市民全体というより、一部(プロ)の利用が多い	市民が気軽に体を動かす場	立地的に交通の便が悪い
	市の顔(式典会場などでも使用できる)	予約がいっぱいでなかなか利用できない	交流の場	観客の充実

これらを踏まえて、今後公共施設全体の総合的な整備・更新・管理・運営にあたって、どんな点に留意していったらいいのかわ、みんなでじっくり考えて、**長久手市の「公共施設等総合管理計画」に提案を出してみよう！！**

【次回以降のご案内】

- 第4回 (11月11日) 課題に対する提案
 - 第5回 (11月26日) 総まとめ(結論)
- 【第4回】 11月11日(土)
【第5回】 11月26日(日)
いずれも13:30から16:30まで
会場: まちづくりセンター2階 集会室1

いつも参加している方も、はじめての方も、みんなで一緒に考えましょう！！

第4回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年11月11日(土) 13:30~16:30 【参加：19人】

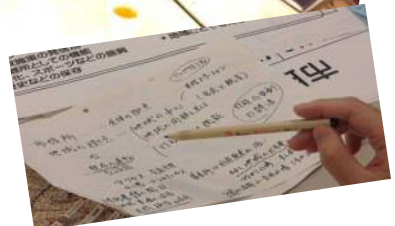
★ 公共施設の基本方針について考えました

市のあらゆる公共施設の全体的な方針についてみんなで考える「公共施設のあり方検討市民ワーキング」もいよいよ後半戦に！！

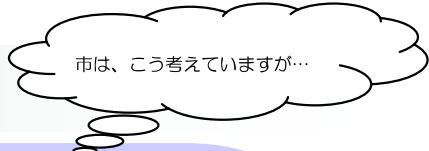
今回（第4回）は、前回話し合った、「市の公共施設は、本来どうあるべきで、今何が問題なのか？」ということについて、その意見を基に、4つのテーマごとに「では、その課題についてどうしたらよいのか」ということをみなさんで考えました。各グループで白熱した議論も展開され、ワーキングは佳境へと向かっていきます！



《プログラム》	
あいさつ	13:30
振り返り	13:35
グループワーク	14:00
『市民が考える公共施設の基本方針』	
結果発表	16:00



★ グループワークの内容



本市の公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針

基本方針1 誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指します。
耐震化や、老朽化対応、バリアフリー化の推進等により、誰もが安全で安心して使用できる公共施設等を目指します。

基本方針2 公共施設の更新時に機能の複合化を前提に検討するとともに、公民連携の促進や、広域連携などにより、トータルコストを縮減します。
長期間のライフサイクルコストを考慮した施設の維持管理を行うとともに、公共施設の更新時に機能の必要性を勘案のうえ、複合化を前提に検討するほか、公民連携等による施設管理、広域連携による施設運用を行うなど、新たな手法を検討することにより、トータルコストの縮減を目指します。

基本方針3 将来計画に基づき、財政負担を平準化し、計画的に基金を積み立てます。
公共施設等の将来にわたる更新等に必要とされる金額を推計し、長寿命化等により財政負担を平準化するとともに、財源不足が生じないよう、基金の積立てや起債の発行などを計画的に行います。

市は、総合管理計画において「公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針」を定めていますが、前回の結果から事務局と恒川ゼミで検討し、抽出した4つのテーマごとに、「市民が考える基本方針」を作る場合、そのタイトルと内容について、各グループで議論しました。

SAMPLE

市民が考える基本方針

基本方針2 [アクセス・立地]

タイトル

広域・狭域で考える市の拠点	アクセス・立地
4つのテーマごとに長久手の公共施設について考えよう！	
施設の有効利用 (利便性・効率性・多様性)	老朽化・庁外連携



ファシリテーター:
名古屋大学大学院
恒川和久准教授

★グループワーク結果

これらの時代、将来の負担となるような新しいハコモノは作らないほうがよいのではないかな？

市民が考える基本方針

基本方針1【広域・狭域で考える市の拠点】
 タイトル 市全体の拠点から地域の拠点へ
 - 市民中心の将来の拠点づくり -
 現状の施設を活用して地区・地域ごとの中心づくり
 (市民・職員の取組) 駅前・公園・小中学校

市民が考える基本方針

基本方針3【施設の有効利用(利便性・効率性・多様性)】
 タイトル その施設は、その使い方で合ってる？
 効率的
 利便性
 多様性

市民が考える基本方針

基本方針3【施設の有効利用(利便性・効率性・多様性)】
 タイトル 小規模多機能な集会所にする
 ・キーマンを発掘する 継続的な企画運営
 ・自治会単位ではなく街づくり協議会が運営する
 ・居住も休日も自由に利用できる 自由に使える集会所
 ・多世代が気軽に立ち寄れる 子育て支援、高齢者の福祉
 多世代更新お 洋風にも対応

Nピアみたいに民間施設をうまく間借りして、行政サービスを提供することもできるなら、老朽化した全ての公共施設を更新しようとしなくてもよいのでは？

市民が考える基本方針

基本方針4【老朽化・庁外連携】
 タイトル 既存施設をテナント化、行政機能を民間施設へ
 民間施設をテナント化、行政機能を民間施設へ
 既存施設をテナント化、行政機能を民間施設へ

各グループでテーマを決めて2~4つ、計10個の基本方針について話し合ったところ、同じテーマでも結果やまとめ方は様々、中には対象的なものも…。最終的にどうまとまっていくのか楽しみ！

市民が考える基本方針案（公共施設に関する提案）

基本方針1	【広域・狭域で考える市の拠点】
<ul style="list-style-type: none"> 市全体の拠点から地域の拠点へ - 市民中心の将来の拠点づくり - 現在の市役所の広域拠点化による長久手の中心部形成 	
基本方針2	【アクセス・立地】
<ul style="list-style-type: none"> 近場の施設の共用 広域施設は公共交通、狭域施設は徒歩圏内 	
基本方針3	【施設の有効利用(利便性・効率性・多様性)】
<ul style="list-style-type: none"> 知って・見て・使う その施設は、その使い方で合ってる？ 小規模多機能な集会所にする 	
基本方針4	【老朽化・庁外連携】
<ul style="list-style-type: none"> 必要な施設は建て替え、他で使える施設と一緒に使おう 杵ヶ池体育館の杵ヶ池公園と一体化した整備 既存施設をテナント化、行政機能を民間施設へ 	



FMを考える上で非常に重要な論点、思いもよらなかった意見など、今日も幅広い提案が出ました。次回はいよいよ最終回。今までの議論を踏まえて、皆さんの手でこのワーキングの成果を作り上げましょう！

【次回ご案内】

第5回 (11月26日)	【最終回】
総まとめ (結論)	13:30から16:30まで
	会場：まちづくりセンター2階 集会室1

いよいよ千秋楽！初めての方、いつもの方、久しぶりの方、みんなでこのワーキングの成果を作り上げよう！！

第5回 公共施設のあり方検討 市民ワーキングが開催されました

2017年11月26日(日) 13:30~16:30 【参加：23人】

★「公共施設に関する提言」を作成しました！

8月から開催している公共施設のあり方検討市民ワーキングもついに今回で最終回！これまで全5回にわたり展開された幅広い議論を、参加した市民全員の手でまとめあげていく作業は至難を極め、みなさんの市や公共施設に対する熱い想いが飛び交って、ワーキングの盛り上がりも最高潮に達しました！！

これまでのように意見をただ言い合うだけでなく、参加者全員が提案をまとめることをしっかりと意識して真剣に取り組む姿、会場全体の雰囲気は、まさに「市民参加のまちづくり」の現場そのものでした！

《プログラム》

あいさつと振り返り	13:30
グループワーク①	13:45
提言内容案の検証	
グループワーク②	15:00
公共施設に関する提言の作成	
結果発表・総評	16:10
お礼・記念撮影	16:25

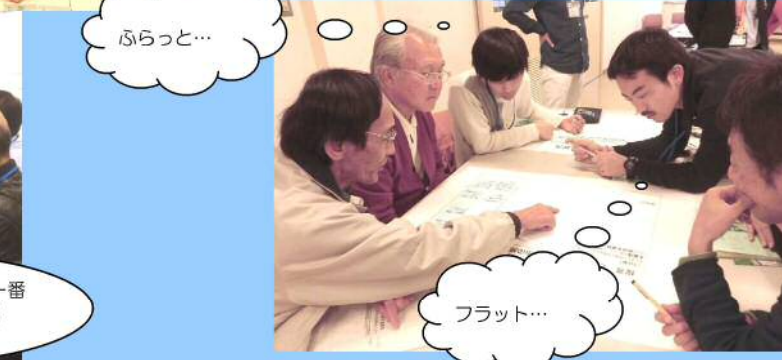


★ グループワークの内容

前回（第4回）のワーキングで、市が考える「公共施設に関する基本方針」に倣い、市民のみなでも考えてみた結果を踏まえ、名古屋大学恒川ゼミの学生と事務局が4つのテーマを再編し、素案として作成。前半のワーキングでは、その4つの素案について、「内容の検証」と、「足りない視点」がないか、知恵を絞って議論しました。



- 広域で考える市の拠点**
 - ・複合化、交通、自治体連携 ...
- 狭域で考える市の拠点**
 - ・機能と立地の整理、施設間連携、気軽に利用できる ...
- 市民の使い勝手の向上**
 - ・施設管理の一元化、利用しやすさ ...
- 施設に対する行政運営**
 - ・施設の整備方針、民間施設の活用、大学の活用 ...



後半は、それぞれ自分の関心があるテーマごとに集まり、これまでの意見をまとめて、「公共施設に関する提言」を作成する作業を行いました。各班それぞれの手法で、これまで出た意見を丁寧に紡ぎながら、公共施設のあり方を考える上で、その論点の核を見いだしていきました。



★グループワーク結果

誰もが「ふらっと」「フラット」に使える施設

まちの中心となる大きな施設は、複合化や連携を活かして市民のメリットを最大限に…

施設情報の見える化!

公共施設を総合的に管理する組織体制がまず必要だ!!

※みなさんが検討したそれぞれの提言内容は、名古屋大学恒川研究室監修のもと最終的にとりまとめ、市公共施設等総合管理計画更新版の作成にあたり、参考意見とさせていただきます。

公共施設に関する提言
 提言 2 【狭域で考える市の拠点について】
 (内容要) 各エリアの中心となる公共施設(図書館、公民館、市民センター)の機能や立地を整理する。小規模多機能型複合施設を活用し、それぞれ、市庁舎周辺の中心としたエリアの拠点を選定し、誰もが自由アクセスしやすくなる。誰もが自由アクセスしやすくなる。
 (不足する視点) 各エリアの中心となる公共施設(図書館、公民館、市民センター)の機能や立地を整理する。小規模多機能型複合施設を活用し、それぞれ、市庁舎周辺の中心としたエリアの拠点を選定し、誰もが自由アクセスしやすくなる。誰もが自由アクセスしやすくなる。

公共施設に関する提言
 提言 3 【市民の使い勝手の向上について】
 (内容要) 公共施設を一元的に管理することで市民が気軽に利用しやすくなる。多くの公共施設を一元管理することで、市民が気軽に利用しやすくなる。多くの公共施設を一元管理することで、市民が気軽に利用しやすくなる。
 (不足する視点) 公共施設を一元的に管理することで市民が気軽に利用しやすくなる。多くの公共施設を一元管理することで、市民が気軽に利用しやすくなる。多くの公共施設を一元管理することで、市民が気軽に利用しやすくなる。

公共施設に関する提言
 提言 4 【施設に対する行政運営について】
 (内容要) 施設運営の効率化、更新、維持管理・標準化、他施設での代替の活用を行う。必要に応じて更新、維持管理・標準化、他施設での代替の活用を行う。必要に応じて更新、維持管理・標準化、他施設での代替の活用を行う。
 (不足する視点) 施設運営の効率化、更新、維持管理・標準化、他施設での代替の活用を行う。必要に応じて更新、維持管理・標準化、他施設での代替の活用を行う。必要に応じて更新、維持管理・標準化、他施設での代替の活用を行う。

★全てのワーキングを終えて… (総評)

このワーキングを通じて、皆さんが公共施設全体のこと考えるきっかけになっただけでなく、施設ごとの様々な課題や現状をご理解されたと思います。

また、具体的な課題解決については、今後施設ごとに考えていく必要があるでしょう。



(事務局から)
 今後みなさんの意見を踏まえて、公共施設等総合管理計画を見直していきますが、次は、具体的に「市役所」にテーマを絞ったワークショップの開催も予定していますので、皆さん積極的にご参加ください。



おつかれさまでした!